

科目名	被服構成論Ⅰ				
時間数	128時間(64コマ)			科目コード	2025K101
必・選の別	必修	開講時期	通年	授業の形式	講義
学科（コース）・学年	きもの科1年				
担当教員名	岩田美穂				
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	講師である岩田美穂は、和服縫製所にて5年間修業したのち独立し、フリーランスとして和服の仕立て業に10年以上携わった実績を踏まえ、1級和裁技能士の実務者の観点から授業を行う。				
授業の目標および概要	日本伝統技術継承、きものの新しい可能性を試みることを目標とする ・「きもの」の伝統技術の習得 ・和裁の基礎の習得 ・日本文化としての「きもの」を理解				
使用教材・教科書等	織田きもの専門学校「和裁」教科書				
成績評価方法	試験100%				
授 業 計 画					
1. 用具説明…概念 2. 運針・基礎縫い…概念 3. 半襦袢…概念・裁ち方積り方 4. 女物浴衣…概念・裁ち方積り方 5. 男物浴衣…概念・裁ち方積り方 6. 創作きもの…概念・裁ち方積り方 7. 女物単衣長着〈紬〉…概念・裁ち方積り方 8. 女物無双袖長襦袢…概念・裁ち方積り方 9. 部分縫い（女物衿先・バチ衿） 10. 部分縫い（男物衿先・棒衿） 11. 部分縫い（女物衿先・額縁広衿） 12. 部分縫い（女物袷袖） 13. 定期試験（被服）前期・後期					

科目名	和服縫製Ⅰ				
時間数	466時間(233コマ)			科目コード	2025K102
必・選の別	必修	開講時期	通年	授業の形式	実習
学科（コース）・学年	きもの科1年				
担当教員名	岩田美穂				
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	講師である岩田美穂は、和服縫製所にて5年間修業したのち独立し、フリーランスとして和服の仕立て業に10年以上携わった実績を踏まえ、1級和裁技能士の実務者の観点から授業を行う。				
授業の目標および概要	日本伝統技術継承、きものの新しい可能性を試みることを目標とする ・「きもの」の伝統技術の習得 ・和裁の基礎の習得 ・日本文化としての「きもの」を理解				
使用教材・教科書等	織田きもの専門学校「和裁」教科書				
成績評価方法	課題 100%				
授 業 計 画					
1. 用具説明…使用練習 2. 運針・基礎縫い…実技練習 3. 半襦袢…実物制作 4. 女物浴衣…実物制作 5. 男物浴衣…実物制作 6. 創作きもの…実物制作 7. 女物単衣長着〈紬〉…実物制作 8. 女物無双袖長襦袢…実物制作 9. 部分縫い〈女物衿先・バチ衿〉…実物制作 10. 部分縫い〈男物衿先・棒衿〉…実物制作 11. 部分縫い〈女物衿先・額縁・広衿〉…実物制作 12. 部分縫い〈女物袷袖〉…実物制作 13. 自由作品…実物制作					

科目名	着付Ⅰ				
時間数	56時間(28コマ)			科目コード	2025K103
必・選の別	必修	開講時期	通年	授業の形式	講義・実習
学科（コース）・学年	きもの科1年				
担当教員名	江原妙子				
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	講師である江原妙子は、フリーランスとして着付に15年以上以上携わった実績を踏まえ、着付師の実務者の観点から授業を行う。				
授業の目標および概要	・ 浴衣、普段着の着付け ・ 着付けの基礎、テクニックを学ぶ ・ 自分の体形を知り、自装する ・ 着付け認定3級の習得				
使用教材・教科書等	着付け道具一式、補正小物一式、プリント、きものの基本、浴衣、細帯、ウール又は紬の着物、名古屋帯、小紋の着物、袋帯、伊達衿				
成績評価方法	課題100%				
授 業 計 画					
【実習】					
1. 着付けに必要な小物の使い方、補正、浴衣、半幅帯					
2. 浴衣の着付け					
3. ショー着付けテクニック（サマーフェスタ）					
4. 普段着の着付け（名古屋帯）					
5. 普段着の着付け（変わり結び）					
6. 着付け認定3級試験					
7. 外出着の着付け（二重太鼓）					
8. 外出着の着付け（自他装）					
9. ショー着付けテクニック（OFDC、修了ショー）					
10. 総練習					
【講義】					
1. 着付けに必要な小物の使い方、補正、浴衣、半幅帯					
2. 普段着の着付け(名古屋帯)					
3. ショー着付けテクニック(サマーフェスタ)					
4. 外出着の着付け(二重太鼓)					

科目名	デザインⅠ			
時間数	24時間(12コマ)		科目コード	2025K104
必・選の別	必修	開講時期	通年	授業の形式
学科（コース）・学年	きもの科1年			
担当教員名	河村里美			
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	京都の着物制作工房で金泥描きや型染めの技法を使った制作に8年携わったのち、ステンシルの技法で様々な生地 of 洋服に絵を描くファブリックステンシルに出会い、現在は講師として教室での指導や講座を開催している。また、オーダーによる描き入れも受けており、デザイン構成・型の作成から作品制作まで一通り自身で行っていることから、制作に必要な基礎を中心に指導しながら型を使った表現の面白さと可能性を探究する。			
授業の目標および概要	・着物の知識を深めるにあたって、基礎的なカラーや配色の知識を学び、実践を行うことにより、学んだ知識を生かせるようにする ・古来よりの着物の意匠や図案への展開の仕方を理解し、新しい独自の表現を行う ・型染めでの染色技法の基礎的な工程や技法を理解し、着物として仕上げる			
使用教材・教科書等	「きものカラーコーディネート」、カラーカード、染色見本、型見本、工作用品一式、プリント他			
成績評価方法	課題100%			

授 業 計 画

【実習】

1. 色についての知識を深める（基本、属性、色相、効果を知る）
2. 基本を踏まえて配色のテクニックを知る
3. 着物デザインの基礎を知り、図案を起こす
4. 図案の詳細化、デザインの決定、ケント紙に彩色
5. 染める物の地色に合わせて配色パターンを制作する
6. 実物大図案の作製
7. 学習成果をまとめた資料作り
8. 作品についてプレゼンテーションを行う（トータルコーディネート）

【講義】

1. 色についての知識を深める（基本、属性、色相、効果を知る）
2. 基本を踏まえて配色のテクニックを知る
3. 日本古来からの文様・図案について知る

科目名	染色Ⅰ				
時間数	24時間(12コマ)			科目コード	2025K105
必・選の別	必修	開講時期	通年	授業の形式	講義・実習
学科（コース）・学年	きもの科1年				
担当教員名	河村里美				
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	京都の着物制作工房で金泥描きや型染めの技法を使った制作に8年携わったのち、ステンシルの技法で様々な生地 of 洋服に絵を描くファブリックステンシルに出会い、現在は講師として教室での指導や講座を開催している。また、オーダーによる描き入れも受けており、デザイン構成・型の作成から作品制作まで一通り自身で行っていることから、制作に必要な基礎を中心に指導しながら型を使った表現の面白さと可能性を探究する。				
授業の目標および概要	・ 着物の知識を深めるにあたって、基礎的なカラーや配色の知識を学び、実践を行うことにより、学んだ知識を生かせるようにする ・ 古来よりの着物の意匠や図案への展開の仕方を理解し、新しい独自の表現を行う ・ 型染めでの染色技法の基礎的な工程や技法を理解し、着物として仕上げる				
使用教材・教科書等	「きものカラーコーディネート」、カラーカード、染色見本、型見本、工作用品一式、プリント他				
成績評価方法	課題100%				
授 業 計 画					
【実習】 1. 染めのジャンル、技法を知る 2. 型染の基本を知り、型彫りをする 3. 型と彩色の特徴を知る 4. 染色（創作きもの） 【講義】 1. 染めのジャンル、技法を知る 2. 型染の基本を知り、型彫りをする 3. 型と彩色の特徴を知る					

科目名	ヘア I				
時間数	20時間(10コマ)			科目コード	2025K106
必・選の別	必修	開講時期	前期	授業の形式	実習
学科(コース)・学年	きもの科1年				
担当教員名	半藤径子				
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	講師である半藤径子は、オフィス半藤を設立し、美容師、エステティシャン、ネイリスト、カラーコーディネーター、アロマセラピスト、コスメコンシェルジュの業務に26年以上携わった実績を踏まえ、ヘアメイク業界の実務者の観点からヘアメイクの授業を行う。				
授業の目標および概要	ブラッシング、ブローキング、結ぶ、止めるなどのテクニックの習得。編む、ねじるなどのアップ制作に必要なテクニックを学ぶ				
使用教材・教科書等	ウィッグ、クランプ、ダッカル、ブラセット、コーム、ゴム、ヘアピン類、メイクアップ化粧、丸パフ、各スポンジ、ティッシュ、コットン、肩掛けタオル、顔拭きタオル、クレンジング基礎化粧品				
成績評価方法	課題100%				

授 業 計 画

【ヘア】

1. コーム・ブラシの使い方、アップの基礎テクニック
2. ボリュームを出したまとめ方、バックコーミングの方法
3. 編み込み、ホットカーラーの使い方
4. 夜会巻き、ヘアピンの使い方

【ヘアメイク】

1. トータルコーディネート

科目名	メイク I				
時間数	20時間(10コマ)			科目コード	2025K107
必・選の別	必修	開講時期	前期	授業の形式	実習
学科(コース)・学年	きもの科1年				
担当教員名	半藤径子				
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	講師である半藤径子は、オフィス半藤を設立し、美容師、エステティシャン、ネイリスト、カラーコーディネーター、アロマセラピスト、コスメコンシェルジュの業務に26年以上携わった実績を踏まえ、ヘアメイク業界の実務者の観点からヘアメイクの授業を行う。				
授業の目標および概要	和装のフルメイクを相モデルで出来るようにする				
使用教材・教科書等	ウィッグ、クランプ、ダッカル、ブラセット、コーム、ゴム、ヘアピン類、メイクアップ化粧、丸パフ、各スポンジ、ティッシュ、コットン、肩掛けタオル、顔拭きタオル、クレンジング基礎化粧品				
成績評価方法	課題100%				

授 業 計 画

【メイク】

1. ベースメイク、眉の整え方
2. アイメイク（グラデーション）・口紅・頬紅、きもののアイシャドーの選び方
3. フルメイク、和装の頬紅の入れ方
4. フルメイク、パーツの配置による顔の変化

【ヘアメイク】

1. トータルコーディネート

科目名	日本刺繍Ⅰ			
時間数	34時間(17コマ)		科目コード	2025K108
必・選の別	必修	開講時期	通年	授業の形式
学科（コース）・学年	きもの科1年			
担当教員名	青柳悦子			
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	講師である青柳悦子は、30年にわたり日本刺繍の職人として製作販売、教室活動に従事。2024年よりフリーランスとして日本刺繍の可能性を模索中。多くの制作経験をもとにこの伝統工芸を後世に残してゆきたいと考え、日本刺繍の実務者の観点から授業を行う。			
授業の目標および概要	・日本刺繍の基本を覚える ・用具名、台張り、針の持ち方、糸の扱い方、糸撚りなど ・基礎技法の習得			
使用教材・教科書等	刺繍用具一式、プリント、他			
成績評価方法	課題100%			
授 業 計 画				
1. 用具説明 2. 基礎技法の習得 3. 花袱紗の制作 コマ 1. ①下絵付け ②台張り 2. ①用具説明 ②刺繍をするにあたっての注意事項 ③桜A ぬき地引き 3. ①糸撚り ②桜Bたてぬいきり（夏休みホームワーク 梅E ぬき地引き） 4. 桜A疋田掛け 5. ①桜C 長短刺しぬい ②桜B切り押え 6. ①桜Q 乱れ刺しぬい ②桜F菅ぬい・押え 7. ①桜B・Cしべ掛け ②桜Bさがらぬい ③桜C花粉なりぬい 8. 梅E麻の葉掛け 9. ①葉K 糸張り ②桜A輪郭引っ張りとし ③桜D ぬき地引き基盤押え 10. ①唐草 まついぬい 11. ①葉L 割りぬい ②葉K・M ななめぬいきり 12. ①梅H ぬきぬい ②枝I がくJ 引っ張りとし 13. ①梅P アップリケ ②葉K 引っ張りとし 14. 梅G むしろぬい 15. ①梅P アップリケ貼り付け・輪郭駒取り 16. ①落款 ②仕上げ接着芯付け 17. レポート [採点]				

科目名	スタイル画Ⅰ				
時間数	6時間(3コマ)		科目コード	2025K109	
必・選の別	必修	開講時期	前期	授業の形式	実習
学科（コース）・学年	きもの科1年				
担当教員名	泉田ひとみ				
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	ファッションイラストレーターアシスタントの経験を活かし、現在、新座総合技術高等学校にてファッションデザイン、スタイル画の授業を行う。 服飾デザイン科3年「ファッション表現技法」デザイン専攻科ファッションデザインコース1.2年「コスチュームデザイン演習」の授業を担当。				
授業の目標および概要	「和服を着ている姿」を美しく表現するスタイル画の技術と知識の習得を目標とする。 8頭身プロポーションや着物に適したポーズ、着装時の素材感、季節に沿った柄展開などを課題ごとに取り入れる。				
使用教材・教科書等	筆記用具、2B～4B鉛筆、ピグマペン0.5/0.1、彩色道具一式、方眼定規 クロッキー帳(A4)、PMパッド(A4)、ケント紙(A4)				
成績評価方法	課題85%：授業姿勢・理解度15%				
授 業 計 画					
1：オリエンテーション 2：8頭身プロポーションポイント 3：きものに適したポーズ(正面向き・斜め向き) 4：和服の描き方(基本ディテール) 5：浴衣表現＋柄表現 6：袷のきもの表現＋柄表現 7：フォーマルなきもの表現＋柄表現					

科目名	PC基礎				
時間数	6時間(3コマ)		科目コード	2025K110	
必・選の別	必修	開講時期	後期	授業の形式	講義
学科（コース）・学年	きもの科1年				
担当教員名	川島美晴				
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	講師である川島美晴は、建築設計業に従事しつつ、講師職に就いている。パソコン操作は25年余りになる。基礎的な技能を習得し、デザイナーでも事務職でも活用できる技能の取得を目指した授業を行う。				
授業の目標および概要	PC操作基礎　Photoshop操作基礎				
使用教材・教科書等	自作教材				
成績評価方法	課題 100%				
授　業　計　画					
1. パソコンの構成、操作基礎、データの取り扱い、タイピング、Photoshop 1（画面構成、保存） 2. Photoshop 2（写真の加工、文字） 3. Photoshop 3（作図）					

科目名	きものビジネスⅠ				
時間数	18時間(9コマ)			科目コード	2025K111
必・選の別	必修	開講時期	通年	授業の形式	講義・実習
学科（コース）・学年	きもの科1年				
担当教員名	明里祐子・森田豊樹				
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	講師である明里祐子は、呉服の仕入れや販売をし、現在はフリーランスとして出張着付けや教室を開き活動している。				
授業の目標および概要	仕事に活かす観点から、企業についてやコーディネートについてを学ぶ。				
使用教材・教科書等	パワーポイント資料（プロジェクター）他				
成績評価方法	出席80％、授業姿勢・理解度20％				
授 業 計 画					
販売論…講師：森田 ・企業の仕組みや、販売に求められるスキルや知識などを解説 着付けコーディネート…講師：明里 ・販売員の経験を活かし、反物着付けや着物のコーディネートを実習を交えながら授業を行う					

科目名	材料学Ⅰ				
時間数	10時間(5コマ)			科目コード	2025K112
必・選の別	必修	開講時期	通年	授業の形式	講義
学科（コース）・学年	きもの科1年				
担当教員名	根津公彰・小川茂之・芝井繁男				
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	—				
授業の目標および概要	和服で使用される生地の名前や生地名を覚えるとともに、産地による特徴、素材、染、柄等を生地を見たときに判断できる能力を養う。				
使用教材・教科書等	「きものの基本」、生地見本、プリント、パワーポイント資料(プロジェクター) 他				
成績評価方法	試験70％、出席15％、授業姿勢・理解度15％				
授 業 計 画					
1．材料学…講師：根津 ・絹地の特徴 ・麻、木綿の素材 ・ウール、化学繊維 ・後染め、先染めの特徴 ・お召、機について ・織の組織 2．材料学…講師：小川 ・浴衣、浴衣地の素材、注染染めについて 3．材料学 ・定期試験					

科目名	日本文化研究Ⅰ				
時間数	20時間(10コマ)			科目コード	2025K113
必・選の別	必修	開講時期	通年	授業の形式	講義
学科（コース）・学年	きもの科1年				
担当教員名	多田晴美・高野道子				
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	—				
授業の目標および概要	日本文化を通してきものの知識の習得、また和服の管理方法を学ぶ				
使用教材・教科書等	プリント、見本 他				
成績評価方法	出席80％、授業姿勢・理解度20％				
授 業 計 画					
1. 和服管理…講師：高野 ・きものの管理方法や所作についての講義 2. 日本文化…講師：多田 ・きものの種類と特徴、浴衣の染め（注染）、帯合わせについて解説講座 3. 日本美術史…講師：多田 ・歌舞伎鑑賞に向けて歌舞伎の歴史、衣裳、演目解説講座 ・江戸文化、歴史について解説講座 ・その他、特別講話 4. 針供養…講師：氷川神社 神主様 5. 定期試験（和服管理）					

科目名	校外授業Ⅰ				
時間数	36時間(18コマ)			科目コード	2025K114
必・選の別	必修	開講時期	通年	授業の形式	実習
学科（コース）・学年	きもの科1年				
担当教員名	専任教員				
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	講師である岩田美穂は、和服縫製所にて5年間修業したのち独立し、フリーランスとして和服の仕立て業に10年以上携わった1級和裁技能士の実務者。講師である越川春菜は、きもの販売業務に従事。				
授業の目標および概要	見学や体験を通じて、日本文化などを学ぶ				
使用教材・教科書等	特になし				
成績評価方法	出席80％、授業姿勢・理解度20％				
授 業 計 画					
1. バス研修 2. 浴衣デー 3. きものデー 4. 修了見学 5. 歌舞伎鑑賞教室 6. 運動会					

科目名	特別講座Ⅰ				
時間数	18時間(9コマ)			科目コード	2025K115
必・選の別	必修	開講時期	通年	授業の形式	講義
学科（コース）・学年	きもの科1年				
担当教員名	各回ゲスト講師				
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	—				
授業の目標および概要	ゲスト講師を招いての講座				
使用教材・教科書等	特になし				
成績評価方法	出席80%、授業姿勢・理解度20%				
授 業 計 画					
1. 校長講話 2. 主権者教育 3. 松竹衣装歌舞伎衣装着付け実演 4. SDGS 5. プレゼンテーション…講師：森田 ・ 作品、研究結果などの情報や己の意図を聞き手に披露し 理解を得る為の効率的手段の実演と解説 6. 就職講座…講師：森田 ・ 職業理解等を目的とする。					

科目名	総合選択科目(1年)				
時間数	10時間(5コマ)			科目コード	2025K116
必・選の別	自由選択	開講時期	通年	授業の形式	実習
学科(コース)・学年	きもの科1年				
担当教員名	丸尾裕美子・鈴木宣江・岩田美穂・越川春菜				
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	講師である丸尾裕美子は、和裁技能士として工房、染色家として染色工房での業務従事。講師である鈴木宣江は、国家試験2級和裁技能士として和服縫製に従事。講師である岩田美穂は、和服縫製所にて5年間修業したのち独立し、フリーランスとして和服の仕立て業に10年以上携わった1級和裁技能士の実務者。講師である越川春菜は、きもの販売業務に従事。				
授業の目標および概要	学生が選択した科目を学ぶ				
使用教材・教科書等	各科目による				
成績評価方法	課題70%、出席30%				
授 業 計 画					
下記いずれかの科目のうち1科目を選択して履修する(選択必修) 【袋物】…鈴木 【染色】…丸尾 【手芸】…岩田 【こものづくり】…越川					

科目名	自由選択科目Ⅰ				
時間数	168時間(84コマ)		科目コード	2025K117	
必・選の別	自由選択	開講時期	通年	授業の形式	実習
学科（コース）・学年	きもの科1年				
担当教員名	岩田美穂				
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	講師である岩田美穂は、和服縫製所にて5年間修業したのち独立し、フリーランスとして和服の仕立て業に10年以上携わった実績を踏まえ、1級和裁技能士の実務者の観点から授業を行う。				
授業の目標および概要	和服縫製の授業から、より理解を深め作品を制作することで技術を学ぶことを目的とする。 細帯を仕立てるとともに、帯の種類や特性を学ぶ。				
使用教材・教科書等	教科書、テキスト				
成績評価方法	課題１００％				
授 業 計 画					
1．女物絹布長着 2．美術館見学 3．工芸品製作 4．校外授業 5．染色 6．着付 7．ショー練習（海外研修・サマーフェスタ・学園祭）					

科目名	被服構成論Ⅱ				
時間数	140時間(70コマ)			科目コード	2025K201
必・選の別	必修	開講時期	通年	授業の形式	講義
学科（コース）・学年	きもの科2年				
担当教員名	鈴木宣江				
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	講師である鈴木宣江は、国家試験2級和裁技能士として和服縫製に従事。 その実務者の観点から授業を行う。				
授業の目標および概要	日本伝統技術継承、きものの新しい可能性を試みることを目標とする 人間力を得る ・「きもの」の伝統技術の習得 ・日本文化としての「きもの」を理解				
使用教材・教科書等	織田きもの専門学校「和裁」教科書				
成績評価方法	試験100%				
授 業 計 画					
1. 女物袷長着＜紬＞…概念・裁ち方積り方・実物製作 2. 女物袷長着＜色無地＞…概念・裁ち方積り方・実物製作 3. 和裁検定用女物単衣長着…通し練習2回タイムトライアル 4. 九寸名古屋帯…概念・裁ち方積り方・実物製作 5. 女物単衣羽織…概念・裁ち方積もり方・実物製作 6. 卒業作品＜付け下げ＞…概念・裁ち方積り方・実物製作 7. 自由作品…裁ち方積り方・実物製作 8. 部分縫い（袷・袷先）…製図・裁断・製作 9. 部分縫い（小裁・紐飾り）…概念・製図・裁断・製作 10. 部分縫い（紐結び）…製作					

科目名	和服縫製Ⅱ				
時間数	498時間(249コマ)			科目コード	2025K202
必・選の別	必修	開講時期	通年	授業の形式	実習
学科（コース）・学年	きもの科2年				
担当教員名	鈴木宣江				
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	講師である鈴木宣江は、国家試験2級和裁技能士として和服縫製に従事。 その実務者の観点から授業を行う。				
授業の目標および概要	日本伝統技術継承、きものの新しい可能性を試みることを目標とする 人間力を得る ・「きもの」の伝統技術の習得 ・日本文化としての「きもの」を理解				
使用教材・教科書等	織田きもの専門学校「和裁」教科書				
成績評価方法	課題85％、試験15％				
授 業 計 画					
1. 女物袷長着＜紬＞…概念・裁ち方積り方・実物製作 2. 女物袷長着＜色無地＞…概念・裁ち方積り方・実物製作 3. 和裁検定用女物単衣長着…通し練習2回タイムトライアル 4. 九寸名古屋帯…概念・裁ち方積り方・実物製作 5. 女物単衣羽織…概念・裁ち方積もり方・実物製作 6. 卒業作品＜付け下げ＞…概念・裁ち方積り方・実物製作 7. 自由作品…裁ち方積り方・実物製作 8. 部分縫い（袷・袷先）…製図・裁断・製作 9. 部分縫い（小裁・紐飾り）…概念・製図・裁断・製作 10. 部分縫い（紐結び）…製作					

科目名	着付Ⅱ			
時間数	52時間(26コマ)		科目コード	2025K203
必・選の別	必修	開講時期	通年	授業の形式
学科（コース）・学年	きもの科2年			
担当教員名	江原妙子			
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	講師である江原妙子は、フリーランスとして着付に15年以上以上携わった実績を踏まえ、着付師の実務者の観点から授業を行う。			
授業の目標および概要	・ 柔らかい着物（小紋等）二重太鼓 ・ 袋帯を使って変わり結びのバリエーションを学びトルソー他装を学ぶ ・ 留袖の着付、七五三、袴の着付け			
使用教材・教科書等	タオル、サラシ、三重ヒモ、輪ゴム			
成績評価方法	実技100％			
授 業 計 画				
【実習】 1. 補正の確認、半衿付、外出着 2. 外出着、二重太鼓、自他装 3. ふくら雀(袋帯) 4. 花文庫・ふくら雀 復習 5. 外出着(トルソー、自他装)、緋扇 6. サマーフェスタの着付け 7. 留袖の着付け 8. 外出着・二重太鼓 9. 外出着・二重太鼓 10. 外出着・二重太鼓 11. 2級実技テスト 12. 2級実技追試 13. 七・五・三の着付け 14. 振袖、ショー着付けテクニック 15. 男・女袴着付け 16. 総練習				
【講義】 1. 補正について 2. 変わり結びについて 3. 七五三着付について 4. 男女袴について				

科目名	デザインⅡ				
時間数	52時間(26コマ)		科目コード	2025K204	
必・選の別	必修	開講時期	通年	授業の形式	講義・実習
学科（コース）・学年	きもの科2年				
担当教員名	石原真理				
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	講師である石原真理は、作家・コーディネーターとして、デザイン・意匠学に25年以上携わった実績を踏まえ、デザイン・意匠学の実務者の観点から授業を行う。				
授業の目標および概要	きもの等デザインに対する理解				
使用教材・教科書等	色鉛筆、絵具、筆、はさみ、のり、参考資料、ファイル				
成績評価方法	出席80％、授業姿勢・理解度20％				
授 業 計 画					
【実習】 1．立体ひな形 2．立体ひな形 3．ろうけつ染技法を生かしたデザインとは 4．色無地に合う帯デザイン 5．帯デザイン 6．帯デザイン 7．帯デザイン 8．帯実寸 9．帯実寸 10．絵羽実寸 11．絵羽実寸 12．帯ファイル 13．ろう帯発表会 【講義】 1．きものの意匠について 2．名古屋帯のデザインについて 3．ろうけつ染のデザインについて 4．絵羽模様について					

科目名	染色Ⅱ				
時間数	24時間(12コマ)			科目コード	2025K205
必・選の別	必修	開講時期	通年	授業の形式	講義・実習
学科（コース）・学年	きもの科2年				
担当教員名	石原真理				
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	講師である石原真理は、作家・コーディネーターとして、デザイン・意匠学に25年以上携わった実績を踏まえ、デザイン・意匠学の実務者の観点から授業を行う。				
授業の目標および概要	ろうけつ染めへの理解とオリジナル帯制作				
使用教材・教科書等	絹帯地・ろうけつ染道具（染料・刷毛・蠟等）				
成績評価方法	出席80％、授業姿勢・理解度20％				
授 業 計 画					
【実習】 1. ろう基本試し 2. ろう基本試し 3. 下絵、せき出し、ぼかし、挿し 4. 色挿し 5. 色挿し 6. 色挿し、ろう落とし、仕上げ 7. 帯デザイン 8. 帯デザイン 9. 青花・ろう 10. ろう、挿し、ふせ 11. ろう、挿し、ふせ、地入れ 12. ろう、地染 13. 後仕事（金彩・顔料等）、ファイル、ろう落とし、仕上げ 上記のうち20時間は自由選択として帯制作をすることが可能					
【講義】 1. ろうけつ染の染め技法について①②③☒ 2. 後仕事について					

科目名	ヘアⅡ				
時間数	20時間(10コマ)		科目コード	2025K206	
必・選の別	必修	開講時期	後期	授業の形式	講義・実習
学科（コース）・学年	きもの科2年				
担当教員名	半藤径子				
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	講師である半藤径子は、オフィス半藤を設立し、美容師、エステティシャン、ネイリスト、カラーコーディネーター、アロマセラピスト、コスメコンシェルジュの業務に26年以上携わった実績を踏まえ、ヘアメイク業界の実務者の観点からヘアメイクの授業を行う。				
授業の目標および概要	和の髪型を学び、和と洋の違いを知る。各々の個性に合わせたヘアメイクやTPOに合わせたコーディネートが出来るようになる。				
使用教材・教科書等	ウィッグ、クランプ、ダッカール、ブラシセット、コーム、ゴム、ヘアピン類、肩掛けタオル				
成績評価方法	課題100％				
授 業 計 画					
【実習】 【ヘア】 1．日本髪①② 2．いろいろな根の作り方①② 3．ロールアップ・ボンパドール、ホットカーラーを使った髪型①② 4．TPOに合わせたヘアメイク①② 5．トータルコーディネート① 【講義】 1．日本髪について					

科目名	メイクⅡ				
時間数	20時間(10コマ)		科目コード	2025K207	
必・選の別	必修	開講時期	後期	授業の形式	講義・実習
学科（コース）・学年	きもの科2年				
担当教員名	半藤径子				
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	講師である半藤径子は、オフィス半藤を設立し、美容師、エステティシャン、ネイリスト、カラーコーディネーター、アロマセラピスト、コスメコンシェルジュの業務に26年以上携わった実績を踏まえ、ヘアメイク業界の実務者の観点からヘアメイクの授業を行う。				
授業の目標および概要	和の古典化粧を学び、和と洋の違いを知る。各々の個性に合わせたヘアメイクやTPOに合わせたコーディネートが出来るようになる。				
使用教材・教科書等	ダッカル、メイクアップ化粧、丸パフ、各スポンジ、ティッシュ、コットン、肩掛けタオル、顔拭きタオル、クレンジング基礎化粧品				
成績評価方法	課題100％				
授 業 計 画					
【実習】 【メイク】 1．白塗り1 2．白塗り2 3．和洋メイクの違い、和洋メイク2-1①② 4．印象チャート、和装メイク2-2、T・P・Oと着物①② 5．TPOに合わせたヘアメイク 6．トータルコーディネート 【講義】 1．和の化粧について 2．個人の顔のパーツに合わせたメイクについて					

科目名	デジタルテキスタイルデザインⅡ				
時間数	10時間(5コマ)		科目コード	2025K208	
必・選の別	必修	開講時期	通年	授業の形式	講義・実習
学科（コース）・学年	きもの科2年				
担当教員名	木越まり				
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	講師である木越まりは、呉服業界で25年のデザイナーとしての経験及び、デザインと製造に関わってきた実績と、複数の呉服関係専門分野の学校での教壇に立つ経験を踏まえ、着物のデジタルデザインに特化した実践的な授業を行う。				
授業の目標および概要	「半幅帯」の制作で以下を習得する ・Photoshopの基礎 ・描き方 ・半幅帯の柄の入れ方				
使用教材・教科書等	鉛筆・色鉛筆・水生ペン・紙・トレーシングペーパー・パソコン（Photoshop）				
成績評価方法	課題100％				
授 業 計 画					
宿題：出来上がり寸法17cmX440cm（縫い代含まず）の半幅帯のデザインを実寸でラフスケッチして第1回目の授業に持参する。作図の方法は色鉛筆でも絵の具でもパソコンでも良いがカラーであり、紙で持ってくる。リピー柄の場合は一部でも良いし、リピーがない場合は全体のイメージでも良い。					
第1回目の授業 1 Photoshopの基礎を学ぶ 2 各自のラフスケッチを検討 3 下図の描き方 宿題：図案の下図を完成させる。提出は第2回目の授業。					
第2回目の授業 1 下図のチェック 2 パーツに分けた清書の仕方を学ぶ 宿題：パーツの清書をしてくる。提出は第3回目の授業。					
第3回目の授業 1 パーツをスキャンする 2 パソコンでの着色とレイヤーを学ぶ 宿題：パーツを完成させる。					
第4回目の授業 1 パーツの着色の続きと配置					
第5回目の授業 1 パーツの着色の続きと配置の続き					
第6回目の授業 1 全体を完成させる 2 裏側の柄も完成させる					
第7回目の授業 1 表も裏も完成させる					
合同発表会 半幅帯を商品化するためのプレゼンテーション					

科目名	きものビジネスⅡ				
時間数	6時間(3コマ)			科目コード	2025K209
必・選の別	必修	開講時期	通年	授業の形式	講義
学科（コース）・学年	きもの科2年				
担当教員名	太田陽介・明里祐子				
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	—				
授業の目標および概要	呉服業界の現状を知る				
使用教材・教科書等	パワーポイント資料（プロジェクター）				
成績評価方法	出席80％、授業姿勢・理解度20％				
授 業 計 画					
1. 流通論…講師：太田 ・ 呉服業界における百貨店の役割と仕事について講義					
2. 着付けコーディネート…講師：明里 ・ TPOに合わせたきもののコーディネートや帯結びの習得					

科目名	日本文化研究Ⅱ				
時間数	22時間(11コマ)			科目コード	2025K210
必・選の別	必修	開講時期	通年	授業の形式	講義
学科（コース）・学年	きもの科2年				
担当教員名	多田晴美・高野道子				
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	—				
授業の目標および概要	日本文化を通してきものの知識の習得				
使用教材・教科書等	プリント、パワーポイント資料（プロジェクター）他				
成績評価方法	出席80%、授業姿勢・理解度20%				
授 業 計 画					
1. 社会マナー…講師：高野 ・きもの文化ならではの一般常識について					
2. 日本服装史…講師：多田 ・日本人の衣服の歴史についての講座 ・定期試験					
3. 日本美術史 ・文楽鑑賞に向けて歴史、衣裳、演目解説講座 ・江戸文化、歴史について解説講座 ・その他、特別講話					
4. 針供養…講師：氷川神社 神主様					

科目名	校外授業Ⅱ				
時間数	48時間(24コマ)			科目コード	2025K211
必・選の別	必修	開講時期	通年	授業の形式	実習
学科（コース）・学年	きもの科2年				
担当教員名	専任教員				
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	講師である鈴木宣江は、国家試験2級和裁技能士として和服縫製に従事。				
授業の目標および概要	見学や体験を通じて、日本文化などを学ぶ				
使用教材・教科書等	特になし				
成績評価方法	出席80％、授業姿勢・理解度20％				
授 業 計 画					
1. バス研修 2. 浴衣デー 3. きものデー 4. 修了見学 5. 文楽鑑賞 6. 運動会 7. 研修旅行					

科目名	特別講座Ⅱ				
時間数	18時間(9コマ)			科目コード	2025K212
必・選の別	必修	開講時期	通年	授業の形式	講義
学科（コース）・学年	きもの科2年				
担当教員名	各回ゲスト講師・根津公彰				
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	—				
授業の目標および概要	ゲスト講師を招いての講座				
使用教材・教科書等	特になし				
成績評価方法	出席80%、授業姿勢・理解度20%				
授 業 計 画					
1. 松竹衣裳歌舞伎衣装着付け見学…講師：松竹衣裳 2. 就職講座…ゲスト講師 3. 材料学…講師：根津 4. 十二単講座…講師：高野 5. 振袖企画…講師：江原、半藤、明里					

科目名	総合選択科目(きもの科2年)				
時間数	10時間(5コマ)			科目コード	2025K213
必・選の別	選択必修	開講時期	通年	授業の形式	実習
学科(コース)・学年	きもの科2年				
担当教員名	丸尾裕美子・越川春菜・鈴木宣江・岩田美穂				
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	講師である丸尾裕美子は、和裁技能士として工房、染色家として染色工房での業務従事。講師である越川春菜は、きもの販売業務に従事。講師である鈴木宣江は、国家試験2級和裁技能士として和服縫製に従事。講師である岩田美穂は、和服縫製所にて5年間修業したのち独立し、フリーランスとして和服の仕立て業に10年以上携わった1級和裁技能士の実務者。				
授業の目標および概要	学生が選択した科目を学ぶ				
使用教材・教科書等	各科目による				
成績評価方法	課題70%、出席30%				
授 業 計 画					
下記いずれかの科目のうち1科目を選択して履修する(選択必修) 【袋物】…鈴木 【染色】…丸尾 【手芸】…岩田 【こものづくり】…越川					

科目名	自由選択科目Ⅱ				
時間数	168時間(84コマ)			科目コード	2025K214
必・選の別	自由選択	開講時期	通年	授業の形式	実習
学科（コース）・学年	きもの科2年				
担当教員名	鈴木宣江				
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	講師である鈴木宣江は、国家試験2級和裁技能士として和服縫製に従事。 その実務者の観点から授業を行う。				
授業の目標および概要	必修授業で習得する技術のステップアップを目指し、より高度な技術を習得する。 和文化を通してきものに精通した知識を身につける。				
使用教材・教科書等	・被服…織田きもの専門学校「和裁」教科書 ・各科目による				
成績評価方法	課題100%				
授 業 計 画					
1. 九寸名古屋帯 2. 肌襦袢 3. 美術館見学 4. 工芸品製作 5. 校外授業 6. 染色 7. 着付					

科目名	被服構成論Ⅲ				
時間数	104時間(52コマ)			科目コード	2025K301
必・選の別	必修	開講時期	通年	授業の形式	講義
学科（コース）・学年	きもの専攻科				
担当教員名	丸尾裕美子				
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	講師である丸尾裕美子は、国家試験2級和裁技能士として工房での和裁業務を4年以上、また染色家として染色工房での染色業務に7年以上従事した実績を踏まえ、和裁および染色の実務者の観点から授業を行う。				
授業の目標および概要	日本伝統技術継承、きものの新しい可能性を試みることを目標とする 人間力を得る ・「きもの」の伝統技術の習得 ・長着以外の和服知識の習得 ・日本文化としての「きもの」を理解				
使用教材・教科書等	織田きもの専門学校「和裁」教科書				
成績評価方法	試験100%				
授 業 計 画					
1. 女物袷羽織…概念・裁ち方積り方・実物製作 2. 道行コート…概念・裁ち方積り方・実物製作 3. 中裁ち単衣長着…概念・裁ち方積り方 4. 中裁ち綿入れ被布…概念・裁ち方積り方 5. 和裁検定用女物袷長着…通し練習5回タイムトライアル 6. 和裁検定部分縫い3種…タイムトライアル 7. 女物綿入れ袴纏…概念・裁ち方積り方 8. 女物袴…概念・裁ち方積り方 9. 女物袷長着（絵羽合わせ）…概念・裁ち方積り方・実物製作 10. 付け比翼…概念・裁ち方積り方・実物製作 11. 部分縫い（変わり衿・へちま衿）…製図 12. 部分縫い（変わり衿・千代田衿）…製図 13. 部分縫い（男物袴・腰板） 14. 部分縫い（五分裬） 15. 卒業作品①…実物製作					

科目名	和服縫製Ⅲ				
時間数	518時間(259コマ)			科目コード	2025K302
必・選の別	必修	開講時期	通年	授業の形式	実習
学科（コース）・学年	きもの専攻科				
担当教員名	丸尾裕美子				
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	講師である丸尾裕美子は、国家試験2級和裁技能士として工房での和裁業務を4年以上、また染色家として染色工房での染色業務に7年以上従事した実績を踏まえ、和裁および染色の実務者の観点から授業を行う。				
授業の目標および概要	日本伝統技術継承、きものの新しい可能性を試みることを目標とする 人間力を得る ・「きもの」の伝統技術の習得 ・長着以外の和服知識の習得 ・日本文化としての「きもの」を理解				
使用教材・教科書等	織田きもの専門学校「和裁」教科書				
成績評価方法	課題85％、試験15％				
授 業 計 画					
1. 道行コート…概念・裁ち方積り方・実物製作 2. 中裁ち袷長着…概念・裁ち方積り方・実物製作 3. 和裁検定用女物袷長着…通し練習5回タイムトライアル 4. 和裁検定部分縫い3種…タイムトライアル 5. 女物袷長着（絵羽合わせ）…概念・裁ち方積り方・実物製作 6. 付け比翼…概念・裁ち方積り方・実物製作 7. 卒業作品①…実物製作					

科目名	着付Ⅲ				
時間数	48時間(24コマ)		科目コード	2025K303	
必・選の別	必修	開講時期	通年	授業の形式	講義・実習
学科（コース）・学年	きもの専攻科				
担当教員名	江原妙子				
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	講師である江原妙子は、フリーランスとして着付に15年以上以上携わった実績を踏まえ、着付師の実務者の観点から授業を行う。				
授業の目標および概要	・ 柔らかい着物（小紋）二重太鼓 ・ 袋帯を使って変わり結びのバリエーションを学ぶ ・ 花嫁の着付け、袴、留袖、振袖の着付け				
使用教材・教科書等	小紋、袋帯、補正小物一式、タオル、サラシ、三重ヒモ				
成績評価方法	課題100％				
授 業 計 画					
【実習】 1. 外出着（伊達衿付）二重太鼓 2. 補正の確認、ふくら雀、花文庫 3. 外出着、緋扇、本文庫 4. 留袖の着付け 5. 留袖の着付け 6. 留袖の試験 7. サマーフェスタの着付け、花嫁の着付け 8. 花嫁の着付け 9. 花嫁の着付け 10. 振袖（帯）、留袖の着付け 11. 振袖の着付け 12. 振袖の着付け 13. 振袖実技テスト 14. 振袖、留袖の追試 15. OFDC練習、総練習					
【講義】 1. 補正について 2. 留袖について 3. 花嫁着付について 4. 振袖について					

科目名	デザインⅢ				
時間数	12時間(6コマ)			科目コード	2025K304
必・選の別	必修	開講時期	通年	授業の形式	講義
学科（コース）・学年	きもの専攻科				
担当教員名	石原真理				
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	講師である石原真理は、作家・コーディネーターとして、デザイン・意匠学に20年以上携わった実績を踏まえ、デザイン・意匠学の実務者の観点から授業を行う。				
授業の目標および概要	友禅染への理解とオリジナル作品の制作 （帯2本、羽織、着物の中から選択）				
使用教材・教科書等	絹帯地・染道具・ファイル				
成績評価方法	出席80％、授業姿勢・理解度20％				
授 業 計 画					
1．友禅染とは。歴史と制作工程の説明（真糊とゴム糊、青花と合成青花など伝統的な材料と現在の材料の比較） 2．雛型・試し染実寸図案 3．実寸配置図案、拡大、実寸デザイン					

科目名	染色Ⅲ				
時間数	40時間(20コマ)		科目コード	2025K305	
必・選の別	必修	開講時期	通年	授業の形式	講義・実習
学科（コース）・学年	きもの専攻科				
担当教員名	石原真理				
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	講師である石原真理は、作家・コーディネーターとして、デザイン・意匠学に25年以上携わった実績を踏まえ、デザイン・意匠学の実務者の観点から授業を行う。				
授業の目標および概要	友禅染への理解とオリジナル作品の制作 （帯2本、羽織、着物の中から選択）				
使用教材・教科書等	絹帯地・染道具・ファイル				
成績評価方法	課題100％				
授 業 計 画					
【実習】 1．試し地入れ・色挿し 2．着物一部試し染め、糸目揮発地入れ 3．着物一部試し染め 色挿し 4．着物制作 青花、糸目 5．着物制作 糸目、揮発地入れ 6．着物制作 糸目、色挿し 7．着物制作 色挿し、地入れ、先地染 8．着物制作 色挿し、ふせ、地入れ 9．着物制作 色挿し、地入れ 地染 10．着物制作 地入れ 11．着物制作地染め 12．着物制作地染め、後仕事 13．仕上げ・発表 上記以外で20時間は自由選択として着物制作をすることが可能					
【講義】 1．色彩について 2．意匠について					

科目名	デジタルテキスタイルデザイン（専攻科）				
時間数	16時間(8コマ)			科目コード	2025K306
必・選の別	必修	開講時期	通年	授業の形式	講義・実習
学科（コース）・学年	きもの専攻科				
担当教員名	木越まり				
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	講師である木越まりは、呉服業界で25年のデザイナーとしての経験及び、デザインと製造に関わってきた実績と、複数の呉服関係専門分野の学校での教壇に立つ経験を踏まえ、着物のデジタルデザインに特化した実践的な授業を行う。				
授業の目標および概要	「浴衣」の制作で以下を習得する ・ Photoshopの基礎 ・ 描き方 ・ 浴衣の柄の入れ方				
使用教材・教科書等	鉛筆・色鉛筆・水生ペン・紙・トレーシングペーパー・パソコン（Photoshop）				
成績評価方法	課題100%				
授 業 計 画					
宿題：浴衣の着姿図（事前にデータでお渡し）を紙に出力し、浴衣のイメージ図を描く。必ずカラーで描く。絵羽ではなくリピートする柄である事。1 リピートの実寸は生地幅38.5cm x縦60.96cm。					
第1回目の授業 1 Photoshopの基礎を学ぶ 2 各自の着姿イメージ図を検討 3 下図の描き方 宿題：図案の1 リピートを実物大でラフに描く。提出は第2回目の授業。					
第2回目の授業 1 ラフのチェック 2 パーツに分けた清書の仕方を学ぶ 宿題：パーツの清書をしてくる。提出は第3回目の授業。					
第3回目の授業 1 パーツをスキャンする 2パソコンでの着色とレイヤーを学ぶ 宿題：パーツを完成させる					
第4回目の授業 1 パーツの着色の続きと配置					
第5回目の授業 1 パーツの着色の続きと配置の続き					
第6回目の授業 1 全体を完成させる					
第7回目の授業 1 完成した図案を着姿図にする 2 仕立て指示書を作る					
合同発表会 浴衣を商品化するためのプレゼンテーション					

科目名	きものビジネスⅢ				
時間数	20時間(10コマ)			科目コード	2025K307
必・選の別	必修	開講時期	通年	授業の形式	講義
学科（コース）・学年	きもの専攻科				
担当教員名	池田喜政・根津公彰・明里祐子				
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	—				
授業の目標および概要	呉服業界の現状を知る				
使用教材・教科書等	特になし				
成績評価方法	出席80％、授業姿勢・理解度20％				
授 業 計 画					
1. きものビジネス論…講師：池田 ・ 呉服業界、産地の現状					
2. 材料学…講師：根津 ・ 産地別素材					
3. 着付コーディネート…講師：明里 ・ 顧客の要望にあったコーディネートをつくる。 ・ TPO、季節に合わせたコーディネートをつくる					

科目名	日本文化研究Ⅲ				
時間数	44時間(22コマ)			科目コード	2025K308
必・選の別	必修	開講時期	通年	授業の形式	講義・実習
学科（コース）・学年	きもの専攻科				
担当教員名	伊丹宗友・多田晴美				
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	—				
授業の目標および概要	日本文化を通してきものの知識の習得				
使用教材・教科書等	プリント、パワーポイント資料（プロジェクター）他				
成績評価方法	出席80％、授業姿勢・理解度20％				
授 業 計 画					
1. 茶道…講師：伊丹 ・ 茶道を通して礼儀作法を身につける 2. 和服文化論…講師：多田 ・ 和文化を通じてきもの文化の移り変わりを解く 3. 針供養…講師：氷川神社 神主様					

科目名	校外授業Ⅲ				
時間数	36時間(18コマ)			科目コード	2025K309
必・選の別	必修	開講時期	通年	授業の形式	実習
学科（コース）・学年	きもの専攻科				
担当教員名	専任教員				
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	講師である丸尾裕美子は、和裁技能士として工房、染色家として染色工房での業務従事。				
授業の目標および概要	見学や体験を通じて、日本文化などを学ぶ				
使用教材・教科書等	特になし				
成績評価方法	出席80％、授業姿勢・理解度20％				
授 業 計 画					
1. バス研修 2. 浴衣デー 3. きものデー 4. 修了見学 5. 運動会					

科目名	特別講座Ⅲ				
時間数	32時間(16コマ)			科目コード	2025K310
必・選の別	必修	開講時期	通年	授業の形式	講義
学科（コース）・学年	きもの専攻科				
担当教員名	各回ゲスト講師				
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	—				
授業の目標および概要	ゲスト講師を招いての講座				
使用教材・教科書等	特になし				
成績評価方法	出席80%、授業姿勢・理解度20%				
授 業 計 画					
1. 松竹衣裳歌舞伎衣装着付け見学 2. スタイル画 3. ウォーキング…講師：宇佐美 ・正しい姿勢と歩き方を習得し、好印象を体得する 4. 社会人講座…ゲスト講師 ・税金・保険・金融など 5. 企業人講座 6. 教育実習 ・1年生に向けて技術指導					

科目名	総合選択科目(専攻科)				
時間数	50時間(25コマ)			科目コード	2025K311
必・選の別	選択必修	開講時期	通年	授業の形式	実習
学科（コース）・学年	きもの専攻科				
担当教員名	半藤径子・丸尾裕美子・越川春菜・鈴木宣江				
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	講師である半藤径子は、オフィス半藤を設立し、美容師、エステティシャン、ネイリスト、カラーコーディネーター、アロマセラピスト、コスメコンシェルジュの業務に26年以上携わった。講師である丸尾裕美子は、和裁技能士として工房、染色家として染色工房での業務従事。講師である越川春菜は、きもの販売業務に従事。講師である鈴木宣江は、国家試験2級和裁技能士として和服縫製に従事。				
授業の目標および概要	学生が選択した科目を学ぶ				
使用教材・教科書等	各科目による				
成績評価方法	課題70%、出席30%				
授 業 計 画					
・下記いずれかの科目のうち1科目選択して履修する（選択必修）					
【袋物】…鈴木 【染色】…丸尾 【足袋】…岩田 【こものづくり】…越川					
・下記いずれかの科目のうち1科目選択して履修する（選択必修）					
【ヘア・メイク】…半藤 【被服（衿羽織）】…丸尾					

科目名	自由選択科目Ⅲ				
時間数	168時間(84コマ)			科目コード	2025K312
必・選の別	自由選択	開講時期	通年	授業の形式	実習
学科（コース）・学年	きもの専攻科				
担当教員名	丸尾裕美子				
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	講師である丸尾裕美子は、国家試験2級和裁技能士として工房での和裁業務を4年以上、また染色家として染色工房での染色業務に7年以上従事した実績を踏まえ、和裁および染色の実務者の観点から授業を行う。				
授業の目標および概要	必修授業で習得する技術のステップアップを目指し、より高度な技術を習得する。 和文化を通してきものに精通した知識を身につける。				
使用教材・教科書等					
成績評価方法	課題100%				
授 業 計 画					
1. 就職講座 2. 女物袴 3. 綿入れ半纏 4. 美術館見学 5. 工芸品製作 6. 校外授業 7. 染色 8. 着付 9. ショー練習〔海外研修・サマーフェスタ・学園祭〕					